

### フナの養殖 佐久で学ぶ ミャンマー政府職員が視察

臼田さん青い服の説明を受けながら水田で  
ふ化した稚魚を見るミャンマー政府の職員ら



ミャンマーの農業畜産灌漑  
省水産局の職員6人が3日  
までの5日間、佐久市を訪  
れた。国際協力機構（JICA  
A）横浜国際センター（横  
浜市）による研修の一環。ミ  
ヤンマーは、水田や池など  
でコイ科の淡水魚を養殖して  
いる。フナの水田養殖が盛ん  
な佐久市を視察したり作業に  
参加したりして知識を深め  
た。

1日は、佐久平ふな部会の  
臼田和好部会長(67)と佐久市  
桜井IIの水田で、ふ化したほ  
かりのフナの稚魚を観察し、  
臼田さん宅でフナの養殖につ  
いて話を聞いた。「鳥よけの  
ために、水田の上には糸や網  
を張っている」といった説明  
があり、職員たちは真剣な表  
情だった。  
水産局副漁業官のトン・ナ  
ウン・ウインさん(43)は「フ

ナの養殖での工夫を学ぶこと  
ができた。見た様子や勉強し  
たことを、帰国して皆で共有  
したい」と話した。

職員たちは5月22日に来  
日。安曇野市や埴玉町で水産  
研究所なども見学し、今月18  
日に帰国する。